

芦東山生誕320年・
芦東山記念館開館10周年記念事業

再発見・再評価

あし どうざん

『無刑録』 ——仙台藩儒 芦東山と

元禄9年(1696)、仙台藩磐井郡東山洪民(現在の岩手県一
関市大東町洪民)に生まれた芦東山は、幼い頃から勉学に励み、苦学の
末、仙台藩の儒学者となりました。

強い信念を持ち、自分の意見をはっきりと主張した芦東山は、藩政や講
堂座列(藩の学問所での席次)に関する願書を出した結果、処罰され、
元文3年(1738)から宝暦11年(1761)までの間、幽閉生
活を送ります。

不自由な幽閉生活の中で、芦東山は我が国の刑法思想の根本原理を論
じた『無刑録』を完成させました。現在『無刑録』は岩手県の指定文化
財になっています。

本事業では、教育による理想的な教化を目指した『無刑録』の先進性
と、常に人間愛の精神を貫いた芦東山の思想、およびその業績について、国
内外の研究者が新しい視点から明らかにします。



主催 一関市教育委員会・早稲田大学中国古籍文化研究所
後援 早稲田大学総合研究機構
協賛 《儒蔵》日本編纂委員会・日本儒教学会

演題・招待講演者

- 今、なぜ芦東山か——芦東山研究の歩みと展望 稲畑 耕一郎 (早稲田大学文学学術院教授)
- 中国古代法文化の芦東山に対する影響 王 青 (中国社会科学院哲学研究所教授)
- 芦東山の『論語』『孟子』理解 劉 玉才 (北京大学中文系教授)
- 『無刑録』の伝世諸写本について 原田 信 (近畿大学経営学部専任講師)
- 『無刑録』と江戸の国学 王 小林 (香港城市大学アジア・国際学系副教授)
- 日本医学教育史からみた芦東山『医経千文』 町 泉寿郎 (二松學舎大学文学部教授)
- 芦東山の「上書」——「七か条の上書」 張 基善 (宮城教育大学講師、芦東山記念館学芸調査員)
- 芦東山『無刑録』の構成の特色と引用文献 解 揚 (中国社会科学院歴史研究所副研究員)



2016
11/2 水
14:00~17:00
(受付開始 13:30)

- 14:00 (1)開会式
- 14:10 (2)基調講演 [第一部]
- 14:30 (3)研究発表 [第二部]
討 論
- 15:20 休 憩
- 15:40 研究発表 [第三部]
討 論
- 16:50 (4)閉会式

聴講無料・申込不要
定員50名・使用言語日本語

会場：早稲田大学戸山キャンパス33号棟第10会議室
〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1
[アクセス] ○地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩3分
○JR山手線 高田馬場駅から早大正門行きバスで5分(馬場下町バス停下車)



2016
11/5 土
13:30~16:00
(受付開始 13:00)

- 13:30 (1)開会式
- 13:40 (2)芦東山記念館の活動
- 14:10 (3)基調講演
休 憩
- 14:40 (4)研究報告
総 括
- 15:50 (5)閉会式

聴講無料・申込不要
定員600名・使用言語日本語

会場：摺沢市民センター室蓬ホール(摺沢駅となり)
〒029-0523 岩手県一関市大東町摺沢字街道下25-3
[アクセス] ○東北自動車道一関ICより車で40分
○JR一関駅よりドラゴンレール大船渡線へ乗換(約40分)、摺沢駅下車